



萩市役所に整備されている急速充電器

環境にやさしい 観光地づくりをめざして 総務常任委員会行政視察研修

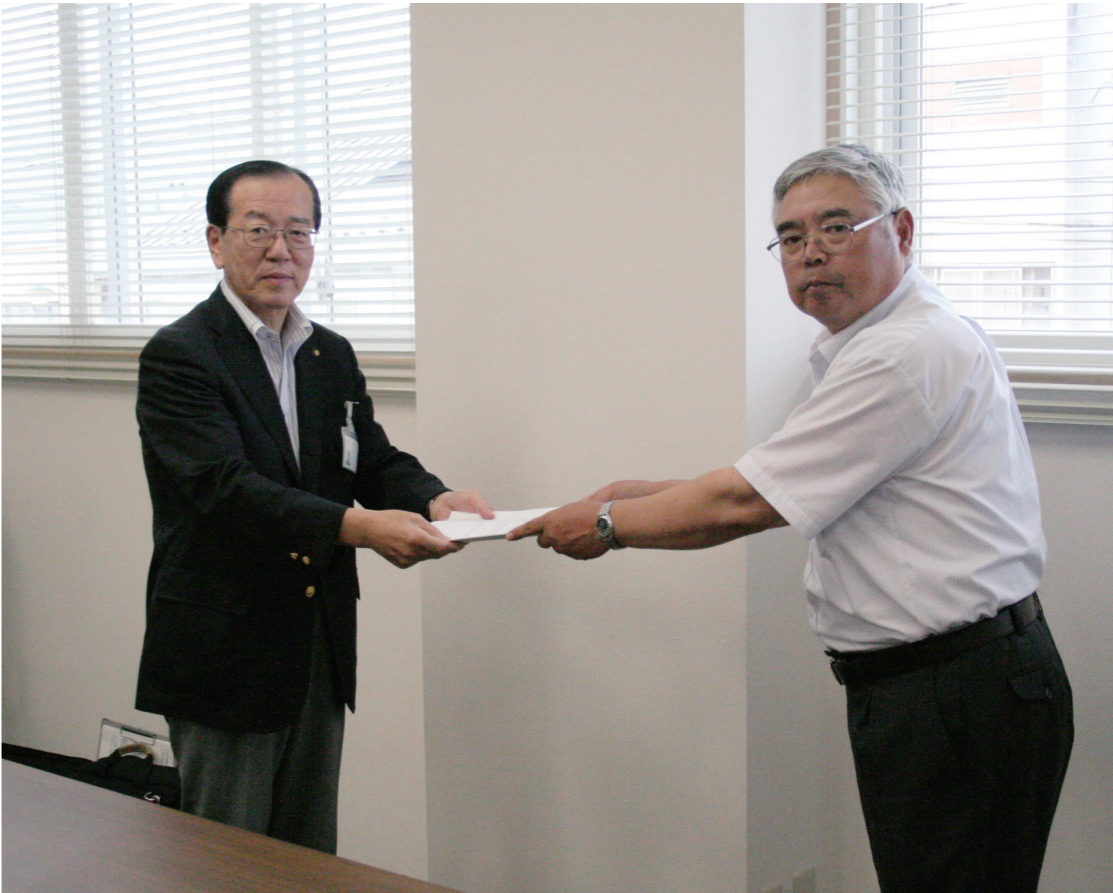
〔視察日程〕
7月1日～3日
〔視察研修先〕
山口県萩市
山口県周南市

〔参加議員〕
菊池民彌
安部重幸
浅沼幸雄
菊池由紀夫
瀧本孝一

◆萩市：環境にやさしい観光地づくり（電気自動車急速充電器整備）について

萩市は、国が、2020年の東京オリンピックまでに電気自動車の普及を新車の15～20%を見込んでいることを受け、市内7ヶ所の道の駅等の利便性の向上や、平成27年からのNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放映等に向け、観光客の誘致を図るために、市内7ヶ所に電気自動車急速充電器の設置を行った。設備費用については、国の補助や自動車4社の支援を受け市財政に負担のかからない設備を図った。

市民の声を市政へ 要望書を提出



新田勝見議長から本田敏秋市長に要望書が手渡された

7月号でお知らせしましたが、議会では開かれた議会をめぐし、4月22日から24日まで市内9会場で『市民と議会との春の懇談会』を開催し、市民の皆様128人（うち女性20人）に参加いただき90件もの貴重なご意見、ご提言をいただきました。この内容を議会運営委員会で慎重に協議し、要望書を遠野市議会として市長に提出いたしました。要望内容の主なものは次のとおりです。

要望事項

1. 公衆トイレの整備について

介護者が男性であるか、女性であるかに関わらず利用することができると多目的トイレの整備の必要性が、機関、団体の検証で明らかになっています。また、車社会において、高齢者や障がい者の行動範囲が広がっており、そのような方

が気軽に利用できる機能的なトイレが市内に整備されていることが、知れ渡ることにより、人の流れが変わることも想定されます。釜石自動車道の開通により遠野市内にサービスエリア機能が求められることも想定されることから、高齢者や障がい者にやさしい公衆トイレの整備に取り組まれるよう要望します。

2. 野生鳥獣害対策について

農作物におけるシカ被害対策については、「平成25年度市民と議会との春の懇談会」による「要望」において、すでに要望しているところですが、新たな課題が発生してきていることから、次の事項についても取り組まれるよう要望します。

◇農作物の被害だけではなく、山林に対する被害も拡大しており、水源への影響も深刻と思われる。特に、仙人

峠方面の水源は減少傾向にあるのではないかと、情報も寄せられており、早急な調査が必要と考えられる。

◇行政のシカ被害対策は、農業被害に対する電気柵の設置など限定的な対策に留まっております。山林被害に対する対策も含め取り組みること。

◇駆除したシカの肉を有効に活用するため、処理施設の整備が望まれている。

◇天然記念物である二ホンカモシカによる被害も増えており、対策を講じる必要がある。

3. 震災の被災者支援について

仮設住宅に入居している東日本大震災の被災者が、市営住宅に入居できるように支援体制を講じる必要があります。要望します。

◆周南市：市民活動促進事業及び議会運営と改革について

市民活動とは、不特定多数の人々の利益や地域住民の生活及び地域社会の維持・発展を目的として行う非営利で自主的な活動をいいます。共に活動する楽しさや社会に役に立ちたいという喜びを感じる生きがいの場であり、この活動の促進の指針では、市民活動が活発に展開されることにより、地域に「助け合いコミュニティ」が形成され、魅力と活気のあるふるる市民自治文化が創造されるとしており、これを進めるためには5つの取り組みからなり、その主な事項としては、活動情報発信、グループバンク事業の普及・拡充、市民活動の助成制度の検討・実施、リーダー養成講座の開催、市政への市民参加促進等を段階的に取り組み効果を上げています。

議会運営としては、本会議は、9時から17時まで、会派質問の実



周南市役所での研修

施（3月定例会・所信表明ある定例会）、一般質問（答弁時間含む60分）、予算決算の審査は、会派から選出した委員で構成する「予算決算委員会」で行う。議会改革については、キーワードは公開・対話である。

議長立候補制の導入、議長・副議長の資産公開と議員の所得報告書の提出、委員会懇談会（ミニコン）制度の創設・開催等の実施をしている。議会基本条例は制定していない。